

◎ 指示があるまで開かないこと。

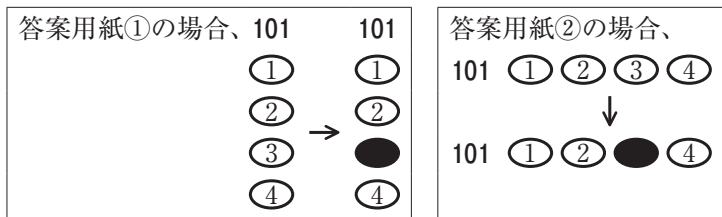
(令和5年2月25日 9時~11時10分)

注 意 事 項

1. 試験問題は **80 問**で、解答時間は正味2時間10分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) 各問題には1から4までの四つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを一つ選び、次の例にならって答案用紙に記入すること。

(例) **問題 101** 県庁所在地はどれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

正解は「3」であるから答案用紙の **③** をマークすればよい。

- (2) 答案の作成には **HB** の鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例…… ● (濃くマークする。)

悪い解答の例…… ⊖ ⊘ (解答したことになる。)
- (3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり「」のような消し方などをした場合は、修正したことになるから注意すること。
- (4) 1問に二つ以上解答した場合は誤りとする。
- (5) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

専門基礎科目

問題 1 医療・福祉施設において、医師を常勤させる義務がないのはどれか。

1. 介護療養型医療施設
2. 介護医療院
3. 介護老人保健施設
4. 介護老人福祉施設

問題 2 医療保険について現金給付が行われるのはどれか。

1. 出産手当
2. 訪問看護
3. 薬の処方
4. 病気の治療

問題 3 医療者の倫理について、患者の自己決定権を尊重するのはどれか。

1. 守秘義務
2. 個人情報保護
3. パターナリズム
4. インフォームド・コンセント

問題 4 介護保険制度について正しいのはどれか。

1. 保険者は市町村および特別区である。
2. 第1号被保険者は75歳以上である。
3. サービス費の利用者負担はない。
4. 介護保険料は全国一律である。

問題 5 我が国の喫煙と健康について正しいのはどれか。

1. 2019年の成人男性の喫煙率は20%である。
2. 受動喫煙では、がんのリスクはない。
3. たばこの価格はOECD諸国の中で最も高い。
4. 喫煙継続はニコチン依存が関係している。

問題 6 産業保健における衛生管理者や産業医を定めた法律はどれか。

1. 労働基準法
2. 労働安全衛生法
3. 作業環境測定法
4. 労働者災害補償保険法

問題 7 化学的消毒法で皮膚の消毒に適さないのはどれか。

1. アルコール類
2. ヨウ素系消毒剤
3. アルデヒド系消毒剤
4. ビグアナイド系消毒剤

問題 8 シックハウス症候群の原因と考えられるのはどれか。

1. 化学物質
2. 室内温度
3. 室内湿度
4. 局所照明

問題 9 適応障害でよくみられるのはどれか。

1. 見当識障害
2. 夜間せん妄
3. 不安症状
4. 失語症

問題 10 疫学指標について、症例対照研究で算出できるのはどれか。

1. 罹患率
2. 死亡率
3. 致命率
4. オッズ比

問題 11 あはき法で、あん摩マッサージ指圧師が医師の同意を得て実施できるのはどれか。

1. エックス線撮影
2. 外科手術
3. 薬品の投与
4. 脱臼患部への施術

問題 12 あはき法で、30日以内にしなければならないのはどれか。

1. 専ら出張のみによる業務を始めたときの届出
2. 免許を取り消されたときの免許証の返納
3. 休止していた施術所を再開したときの届出
4. 施術者の死亡による名簿登録の消除の申請

問題 13 あはき法で、都道府県知事が衛生上害を生ずるおそれがあると認め、その業務に関する必要な指示に施術者が違反した場合の罰則はどれか。

1. 免許の取消し
2. 50万円以下の罰金
3. 30万円以下の罰金
4. 期間を定めた業務の停止

問題 14 あはき法で、免許を与えないことがあるのはどれか。

1. 禁固刑を受けた。
2. 5千円の過料に処せられた。
3. 交通事故で損害賠償の支払いを命じられた。
4. 認定された学校を卒業するのに5年を要した。

問題 15 成人の仙骨について正しいのはどれか。

1. 前弯をなす。
2. 仙骨管には脊髄が通る。
3. 外側仙骨稜は横突起に相当する。
4. 仙骨角は骨盤の分界線を構成する。

問題 16 回旋筋腱板の形成に関与するのはどれか。

1. 肩甲下筋
2. 三角筋
3. 大円筋
4. 大胸筋

問題 17 下顎神経に支配されるのはどれか。

1. 頬筋
2. 側頭筋
3. 口輪筋
4. 広頸筋

問題 18 大動脈の枝について正しいのはどれか。

1. 冠状動脈は大動脈弓から分枝する。
2. 食道動脈は上行大動脈から分枝する。
3. 鎖骨下動脈は椎骨動脈を分枝する。
4. 腕頭動脈は左総頸動脈を分枝する。

問題 19 気管支について正しいのはどれか。

1. 第3胸椎の高さで左右の気管支に分岐する。
2. 右気管支の上を大動脈弓が横切る。
3. 左気管支は2本の葉気管支に分岐する。
4. 区域気管支は軟骨を欠く。

問題 20 錐体路に関与する部位はどれか。

1. 視床
2. 大脳脚
3. 内側毛帯
4. 脊髄後索

問題 21 橈骨神経について正しいのはどれか。

1. 腕神経叢の外側神経束から分かれる。
2. 上腕と前腕の伸筋を支配する。
3. 上腕骨内側上顆の後方を通る。
4. 手根管を通る。

問題 22 内耳について正しいのはどれか。

1. 鼓膜は内耳と鼓室の隔壁である。
2. 内耳は耳管を通して咽頭につながる。
3. 半規管には平衡斑がある。
4. 蝸牛管は内リンパで満たされる。

問題 23 正常な体液について正しいのはどれか。

1. pHは約7.1である。
2. 体液量は体重の約40%である。
3. 細胞内液は細胞外液よりもカリウムイオンが多い。
4. 細胞内液は細胞外液よりも浸透圧が低い。

問題 24 線維素溶解に働く物質はどれか。

1. プラスミン
2. トロンビン
3. 葉酸
4. ビタミン K

問題 25 健康成人の呼吸について正しいのはどれか。

1. 1回換気量は約 70 mL である。
2. 努力呼気時には残気量はゼロになる。
3. 安静時の呼吸数は毎分約 30 回である。
4. 胸腔内圧は外気圧に比べて陰圧である。

問題 26 胆汁について正しいのはどれか。

1. 胆嚢で産生される。
2. ビリルビンを含む。
3. 消化酵素を含む。
4. 脂肪分の多い食事により分泌が低下する。

問題 27 思春期に最大となり、成人に至る間に退縮する器官はどれか。

1. 脳
2. 胸腺
3. 心臓
4. 腎臓

問題 28 自律神経機能の中樞で延髄にあるのはどれか。

1. 体温調節中枢
2. 排尿中枢
3. 摂食中枢
4. 循環中枢

問題 29 交感神経活動に対する応答で正しいのはどれか。

1. 気管支平滑筋の収縮
2. 心拍数の低下
3. 瞳孔の散大
4. 排尿筋の収縮

問題 30 視覚の受容器で主に色の識別にかかわるのはどれか。

1. 錐体細胞
2. 杆体細胞
3. 色素細胞
4. 神経節細胞

問題 31 乳幼児疾患はどれか。

1. シェーグレン症候群
2. バージャー病
3. パーキンソン病
4. ヘルパンギーナ

問題 32 糖尿病に関与するのはどれか。

1. インスリン
2. ガストリン
3. セロトニン
4. ドパミン

問題 33 機能血管と栄養血管による二重支配を受けている臓器はどれか。

1. 脳
2. 肝臓
3. 腎臓
4. 脾臓

問題 34 化膿性炎症に主に関与するのはどれか。

1. 好塩基球
2. 好酸球
3. 好中球
4. リンパ球

問題 35 粘膜免疫に主に関与するのはどれか。

1. IgA
2. IgE
3. IgG
4. IgM

問題 36 消化管の腫瘍について正しいのはどれか。

1. 乳頭腫は非上皮性腫瘍である。
2. 平滑筋腫は悪性腫瘍である。
3. 大腸腺腫は悪性化しない。
4. 腺癌は上皮性腫瘍である。

問題 37 我が国における認知症のうち、アルツハイマー型に次いで多いのはどれか。

1. 血管性
2. 前頭側頭型
3. レビー小体型
4. アルコール性

問題 38 中枢神経疾患でみられやすい歩行はどれか。

1. 鶏歩
2. 間欠跛行
3. 失調性歩行
4. 動揺性歩行

問題 39 呼吸音が減弱するのはどれか。

1. 早期肺癌
2. 緊張性気胸
3. 気管支喘息
4. 肺血栓塞栓症

問題 40 糖尿病の治療効果判定に用いるのはどれか。

1. アミラーゼ
2. 膵リパーゼ
3. HbA1c
4. クレアチニン

問題 41 デルマトームにおいて膝窩の分節はどれか。

1. L3
2. L5
3. S2
4. S4

問題 42 病的反射はどれか。

1. トレムナー反射
2. モロー反射
3. 下顎反射
4. 腹壁反射

問題 43 手指の変形と疾患の組合せで正しいのはどれか。

1. スワンネック変形 —— 変形性関節症
2. クモ状指 —— マルファン症候群
3. ヘバーデン結節 —— 感染性心内膜炎
4. 太鼓ばち指 —— 関節リウマチ

問題 44 胸部の打診で鼓音を呈するのはどれか。

1. 肺炎
2. 無気肺
3. 肺結核
4. COPD

問題 45 視診所見と疾患の組合せで正しいのはどれか。

1. マン・ウェルニッケ肢位 —— クッシング症候群
2. 眼球突出 —— マルファン症候群
3. 満月様顔貌 —— バセドウ病
4. 仮面様顔貌 —— パーキンソン病

問題 46 中高年の失明原因として最も多いのはどれか。

1. 緑内障
2. 加齢黄斑変性症
3. 糖尿病性網膜症
4. 網膜色素変性症

問題 47 偽痛風患者の関節に沈着している結晶成分はどれか。

1. 尿酸ナトリウム
2. シュウ酸カルシウム
3. ビリルビンカルシウム
4. ピロリン酸カルシウム

問題 48 腱板断裂で陽性になることが多いのはどれか。

1. ヤーガソンテスト
2. アイヒホッフテスト
3. フロマン徴候
4. インピンジメント徴候

問題 49 頸椎後縦靱帯骨化症について正しいのはどれか。

1. 欧米人に多い。
2. 我が国では女性に多い。
3. 難治性疾患に認定されている。
4. アキレス腱反射は減弱する。

問題 50 高齢者の非外傷性骨折で多い部位はどれか。

1. 上腕骨近位部
2. 橈骨遠位部
3. 胸腰椎移行部
4. 大腿骨近位部

問題 51 関節リウマチの初期症状はどれか。

1. 関節のこわばり
2. 関節の強直
3. 関節の変形
4. 関節の破壊

問題 52 風疹について誤っているのはどれか。

1. 「三日ばしか」と言われる。
2. リンパ節腫脹は2～3日で軽快する。
3. 妊娠初期における感染に注意を要する。
4. ワクチンが予防に有効である。

問題 53 帯状疱疹について正しいのはどれか。

1. 小児期に発症する。
2. 神経支配領域に皮疹を認める。
3. 抗菌薬を投与する。
4. 再発はしない。

問題 54 DIP 関節の変形性関節症はどれか。

1. ボタン穴変形
2. マレット変形
3. ブシャール結節
4. ヘバーデン結節

問題 55 肺水腫でみられにくい所見はどれか。

1. 起坐呼吸
2. 口すぼめ呼吸
3. 肺野の水泡音
4. ピンク色の泡沫状痰

問題 56 全身性エリテマトーデスについて正しいのはどれか。

1. 男性に多い。
2. 白血球が増加する。
3. 抗核抗体が高率に陽性となる。
4. 血清 γ -グロブリン値は低下する。

問題 57 アフタ性口内炎を認めることが多いのはどれか。

1. ベーチェット病
2. 胃食道逆流症
3. 急性膵炎
4. 機能性ディスペプシア

問題 58 鉄欠乏性貧血でみられるのはどれか。

1. 紫斑
2. 脾腫
3. 汎血球減少
4. スプーン状爪

問題 59 片頭痛の症状で正しいのはどれか。

1. 拍動性頭痛
2. 激しい眼窩部痛
3. 締め付けられるような鈍痛
4. ハンマーで殴られたような痛み

問題 60 糖尿病の初期症状はどれか。

1. 視力低下
2. 口 渴
3. 浮 腫
4. 足趾潰瘍

問題 61 大腸癌について正しいのはどれか。

1. 近年減少傾向である。
2. 大部分が腺癌である。
3. 血清 CEA は早期癌の診断に役立つ。
4. ヘリコバクター・ピロリ感染が関与している。

問題 62 急性膵炎の原因で最も多いのはどれか。

1. アルコール性
2. 自己免疫性
3. 胆石性
4. 薬剤性

問題 63 ICF でセルフケアに該当するのはどれか。

1. 心身機能・身体構造
2. 活 動
3. 参 加
4. 健康状態

問題 64 介護保険のケアプランを作成するのはどれか。

1. 医師
2. 社会福祉士
3. 介護支援専門員
4. 医療ソーシャルワーカー

問題 65 摂食嚥下障害のスクリーニングでよく用いるのはどれか。

1. 水飲みテスト
2. 嚥下造影検査
3. 嚥下内視鏡検査
4. 気管支鏡検査

問題 66 治療体操で「失調症による協調運動不全に対して簡単な関節運動から複雑な運動へと進めていく」のはどれか。

1. ウィリアムス体操
2. バージェャー体操
3. ベーラー体操
4. フレンケル体操

問題 67 歩行において最も転倒リスクの高い変形はどれか。

1. 槌趾
2. 扁平足
3. 外反母趾
4. 内反尖足

問題 68 言語障害と責任病巣の組合せで正しいのはどれか。

1. 運動性失語 —— ウェルニッケ中枢
2. 感覚性失語 —— ブローカ中枢
3. 健忘失語 —— 橋
4. 構音障害 —— 小 脳

問題 69 脊髄損傷後の合併症で最も頻度の高いのはどれか。

1. 高血圧
2. 褥 瘡
3. サルコペニア
4. 心不全

問題 70 下肢切断後の幻肢痛について正しいのはどれか。

1. 小児で出現しやすい。
2. 荷重時の痛みである。
3. 断端創部の治癒により消失する。
4. 早期義足装着は治療に有効である。

問題 71 脳性麻痺について正しいのはどれか。

1. 脳の進行性病変に基づく障害である。
2. 精神発達遅滞と麻痺の程度とは無関係である。
3. 病型はアテトーゼ型が最も多い。
4. 手術療法の対象とはならない。

問題 72 呼吸理学療法のうち、筋緊張を取り除くためのリハビリテーションはどれか。

1. 排痰訓練
2. 呼吸筋強化訓練
3. リラクセーション
4. 全身持久力トレーニング

問題 73 肩関節周囲炎に対するコッドマン体操について正しいのはどれか。

1. 仰臥位で行う。
2. 関節可動域を拡大する。
3. 痛みが強い時期から始める。
4. できるだけ重たいおもりを使う。

問題 74 パーキンソン病の症状で正しいのはどれか。

1. 固 縮
2. 弛緩性麻痺
3. 温痛覚低下
4. 運動失調

次の文で示す症例について、問題 75、問題 76 の問いに答えよ。

「25 歳の男性。重い物を持つとうとしたときに、急に腰痛が出現し左下腿外側のしびれと左足関節の背屈力の低下がみられた。」

問題 75 徒手検査で陽性となるのはどれか。

1. ケンプ徴候
2. パトリックテスト
3. 下肢伸展挙上テスト
4. 大腿神経伸展テスト

問題 76 運動療法で強化すべき筋はどれか。

1. 大腿四頭筋
2. 腹横筋
3. 僧帽筋
4. 腓腹筋

次の文で示す症例について、問題 77、問題 78 の問いに答えよ。

「82 歳の女性。夜間にトイレで転倒し左大腿骨頸部を骨折した。人工骨頭置換術を受け、退院後に来院した。」

問題 77 本患者への生活指導として誤っているのはどれか。

1. トイレに手すりを設置する。
2. ベッドを利用する。
3. 畳に正座をする。
4. 机につかまり交互に片足立ちをする。

問題 78 本患者が骨粗鬆症治療を受けなかった場合に起こりやすいのはどれか。

1. 脊椎圧迫骨折
2. 橈骨頭骨折
3. 上腕骨骨幹部骨折
4. 大腿骨骨幹部骨折

次の文で示す症例について、問題 79、問題 80 の問いに答えよ。

「60 歳の男性。最近過食するようになり、倦怠感、多飲、多尿を認める。空腹時血糖 134 mg/dL、HbA1c 6.7 %。」

問題 79 最初に行うべき対応で最も適切なのはどれか。

1. インスリン注射
2. 経口糖尿病薬の投与
3. 生活習慣の改善指導
4. 経過観察

問題 80 合併症として起こりにくいのはどれか。

1. 網膜症
2. 腎障害
3. 出血傾向
4. 末梢神経障害

